抱一上人真蹟鏡

前編

上

わか師抱一上人いへらく凡画を学ふ人常に
心を高くし広く眼をはなつへし さらに何を学
ふとても初めよりいやしからまし見るものにいり般
日画史も気韻生動を第一とすと伊へりされと
気韻生動ハ天性より出つとおもへハたゝおへり肝心ハ人を
高尚しあらハ此道を学ひ習ひしいつとなく神品
妙位もいたるへし明人の無声詩画と
いへる一枝 大皇国にてハ哥をもて名ある絵とし
絵をもて名なき哥とも伊ふへしかられハ我 其
まされる人 絵をも好りんと思ひし 大清の乃
道をもよくしわれらは神一つ代よりの古書

筆の跡をしたふ輩入木の奥まではより早まし人の
すゝ道をもとめましてつゐに用の世の人のこのめるま
ゝにはらそむすべしと思へともかひなき人を
たのみ侍りき水墨彩色をもやうして又さつおる
ぬさへこそおなし人のこゝろもまたかく錦をきて綱を
くりもとも云へし其ゝさひ有て乃ちまなきとこそおかれ
まつれしおさし近頃我師の画風世にま
もてはやされえらむ人々手にほしこはまいん
なるわざれあるにいま時にいまいちるへしきいつゐまより
て世の人上人乃筆の跡をとて手して我に

けまいらせんあつめしに此ほどながけするをも今度たゝしまい
おのそを取集め編をあつめしる梓にのちせよし
抱一上人書畫鑑とよつけたりゆへん人々
かの師のかゝれよしるしし形のみや美成をとめて
老のこゝろに見き画乃あまりきこえ行ところとも墨の
画をこゝろせしは出のあしきを伝とひた
画のひたむきく志なり世のは雀松軒のあるし

池田孤邨これをしるす

絹本三幅對中幅　竪三尺二寸　横一尺六寸左右存ゝありし

天照皇太神宮

八幡大菩薩

春日大明神

雖為鐵丸食不受心穢之人物
雖為銅焰坐不到心汚之人處

謀計雖為眼前之利潤必當神明罰
正直雖非一旦之依怙終蒙日月憐

雖曳千日注連不到邪見之家
雖為重服深厚可趣慈悲之室

應需　雨華道人拝書之

不争庵藏

絹本十二ヶ月十二幅對　竪一尺三寸四分　横一尺八寸

正月　極彩色

二月　淡彩

西國藏

三月　彩色

四月　淡墨色紙金砂子

五月　極彩色

六月　極彩色

七月　極彩色

八月　淡彩

九月　極彩色

十月　淡墨

上月 彩毫

抱一筆

十二月 抱一彩毫

抱一暉真

右箱書付同筆

横物十二幅對

同裏

圓窓福禄壽　競馬　伊勢物語

狼干燕　扇夕顔　時雨の水鳥

雀兒 徐宗嗣之圖　寒牡丹

色紙 画領　月秋梳　雪鷹狩

雨華庵抱一誌

絹本三幅對潑墨

竪三尺二寸五分横一尺六分

西國藏

右箱書付同筆

三幅對　中源君

右　須磨

左　明石

其一箱裏

抱一暉真筆

紙本三幅對　竪三尺二寸 横九寸

抱一筆

抱一暉真筆

抱一筆

陸庵藏

絹本極彩色
竪一尺七寸三分
横三尺七分
森布蔵

菜花神祇短尺

舊松軒蔵

絹本彩色　竪三尺四寸　挌一尺二寸
篠原氏藏

絹本淡彩
竪六寸五分
挌九寸六分
井上氏藏

絹本淡墨　竪一尺七分　挌一尺五寸
東布藏

絹本極彩色　竪一尺四寸　挌二尺一寸五分
池之端関氏藏

紙本三幅對墨画　竪三尺横九寸

森布藏

紙本淡彩　竪五寸七分横三寸五分

右同藏

紙本墨画
竪九寸五分 横一尺三寸六分

沙門抱一畫併題

紙本墨画
竪一尺八寸 横一尺九寸

抱一畫併題

紙本墨画
竪三尺八寸 横九寸五分

不斷煩惱得涅槃

森布藏

紙本淡彩
竪二尺八寸
横八寸
第双軒藏

右同藏

絹本三幅對
探幽筆
竪二尺七寸五分
横九寸五分

右箱書付同筆

懸物

中福禄寿
左松
右竹
三幅對

絹本彩色

竪九寸七分横一尺七寸二分

抱一筆

赤塚氏蔵

絹本彩色金泥引

竪一尺七寸八分横二尺七寸

上毛相生
書上三省蔵

紙本淡彩

竪二尺九寸五分横八寸九分

抱一画

舊松軒蔵

共一箱裏

抱一筆

絹本彩色

竪三尺二寸 横一尺

第双軒藏

紙本淡墨

竪三尺四寸 横九寸五分

赤塚氏藏

紙本

竪四尺一寸五分　拨一尺二寸二分

石如飛白木如籀寫竹還
應八法通若也有人能會
此須知書畫本來同

右趙孟頫論書詩
抱一道人録

陸庵藏

絹本淡墨

竪三尺三寸拨一尺六分

紙本　竪一尺五寸三分拨一尺八寸五分

沙門抱一書

紙本淡彩　竪一尺六分拨一尺五寸五分

橋本氏藏

絹本金碧山水
舊松軒蔵

紙本極彩色
篁村蔵

紙本彩色文字扇
森布蔵

紙本淡彩
茅双軒蔵

絹本極彩色
竪三尺二寸 横一尺九分

絹本極彩色
竪二尺七寸八分
横一尺八分

一水蔵

紙本
竪九寸
横一尺四寸四分

短尺

右同蔵

絹本淡彩
竪三尺二寸五分
横一尺三寸
三村氏蔵

絹本淡彩

竪三尺八分 横九寸

関氏蔵

短尺

右同蔵

絹本三幅対極彩色金泥引

竪四尺一寸 横一尺七寸三分

六花園蔵

雲峯蛇足暉眞筆

蛇足筆

右箱書付同筆

左　百鶴
中　郭子儀之圖　三幅對
右　百龜

同裏

雨華岑奇蛇筆